

国会通信

茨城選出の議員

ロシアの見解 否定し交渉を

民進・藤田氏

民進党の藤田幸久氏(参院茨城)は12日、参院沖縄及び北方問題に関する特別委員会で質問に立ち、15日からの安倍晋三首相とプーチン大統領の日口首脳会談で、焦点となる北方領土問題交渉の政府方針をたずねた。

藤田氏は、11月にプーチン氏が、齒舞、色丹の引き渡しを明記した1956年の日ソ共同宣言では、どちらの主権下になるか記されていないとの見解を示した

ことについて、四島の帰属問題を解決して平和条約を締結するとした93年の東京宣言と矛盾すると指摘。これまで(両国が)確認したことと異なることをプーチン氏は述べている。それら

を放置せず、否定して交渉すべきだ」と訴えた。

岸田文雄外相は、プーチン氏の発言の評価は避けたが、「採択された全ての文書、合意に基づいて交渉を進めている」と答えた。